

■米国：米国の2018年の石炭消費量、1979年以来最低レベルに

米国エネルギー情報局（EIA）は2018年12月4日発表の報告書において、2018年の米国石炭総消費量は2017年から4%減少し、1979年以来の最低水準である6億9100万ショートトン（1ショートトンは約0.9トン相当）になると予想した。2019年はさらに8%減少の見通し。米国の石炭消費量は2007年をピークにそれ以来減少しており、EIAは2018年の石炭火力部門の石炭使用量の減少を主因として、総消費は2007年レベルよりも4億3,700万ショートトン低くなるとしている。2018年は石炭火力発電所の廃止件数が2番目に多い年でもあったとのこと。発電分野は、米国最大の石炭消費部門であり、2007年から2018年までの米国石炭総消費量の93%を占めている。